

学校経営方針

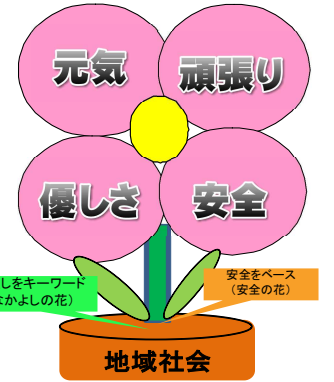
学校教育目標

やさしく、たくましい子どもの育成

<目指す子ども像>

- 進んで学ぶ子ども (よく学ぶ)
- 明るく元気な子ども (よく遊ぶ)
- 仲良く協力する子ども (明るく、仲良く)
- 安全に気をつけ、よく働き、責任をもつ子ども (自己責任)

- ・児童の実態
- ・地域の実態
- ・学校に根づく歴史と伝統
- ・地域の環境、特色
- ・教師の願い



心の花を満開にする

<学校教育目標を、心の花との関連により具現化する>

頑張る(意欲)の種→頑張る(意欲)の花 ・ 元気(健康)の種→元気(健康)の花 ・ やさしさ(思いやり)の種→やさしさ(思いやり)の花 ・ 安全の種→安全、責任の花

経営の方針(柱)

◎ 「仲良し」をキーワードに、安全を基盤にすえて、知育・徳育・体育のバランスのとれた教育活動を展開し、創意と活力に満ちた学校経営を推進する。学校教育目標の具現化に際しては、心の花との関連により、誉めて・認めて・励ましながら心の栄養を醸成することにより、心の花が満開になるように支援する。このことにより子どもの発達段階に応じた自立を図るようにする。また、全児童の教育を全教職員で行うという構えのもと、教育活動全体を通して、組織体として効率的な運営を行うとともに、適正な自己点検・自己評価を行い、教育活動の質的改善に努めながら魅力ある学校づくりを推進する。

こんな学校に

- ※ 全ては「子どものために」
- 明るく美しい学校
- 命や友だちを大切にすこやかな学校
- 学習が分かり、がんばりがいのある学校
- 保護者・地域との連携を密にした開かれた学校

本年度の重点目標

- 4つの「心の花」を満開に咲かせるよう支援する。
- 具体的な目標設定を行うことができるよう支援。
- 情報機器を活用し、共同学習や対話を充実させることにより、発達段階に応じた生きる力の育成
- 継続的な体力づくり。
- 保・幼・小・中・地域との交流を通して、信頼関係を築く力を育成、心のこもったあいさつができるようにする。
- 黙って掃除の習慣化と、安全意識を高め自他の生命を大切にすこやかな心を育み、自己責任能力を高める。

こんな先生に

- 子ども一人一人と心の通い合いを目指す教師
- 子どもと共に学び合い、子どもや保護者、地域の期待に応える先生
- 子どもと同行の姿で、子どもと共に活動する先生
- 教育専門職としての力量を高めるため研修に努め、互いに切磋琢磨する先生
- 自分らしさを発揮し、互いに認め合い、連携を深め協働する先生
- 教育公務員としての自覚をもち、綱紀粛正に努める。

言葉を重視し

各教科

- * 知識・技能の習得と、思考力・判断力・表現力等の育成のバランスを重視
- ・「言葉」と「体験」を重視した学習指導。実感を持って知識や技能を習得
- ・言語活動を充実、思考力・判断力・表現力の育成
- ・児童の学力を把握分析し一人一人が「わかる」「できる」指導を充実
- ・情報機器の活用、少人数
- ・習熟度別学習、TT学習等々指導を工夫改善
- ・家庭と連携し、望ましい生活習慣・学習習慣・言葉の基礎力等「学びの基盤作り」の充実

道徳

- * 豊かな体験を通して、自己の生き方について考えを深める「道徳の充実」
- ・自立心や自律性、生命を尊重する心、健全な自尊感情の育成に重点
- ・全教科、領域を通じて道徳教育を推進。年間指導計画の改善
- ・「北九州道徳郷土資料」「わたしたちの道徳」の活用
- ・体験活動を生かした、内面を耕す道徳の時間
- ・情報モラルの取り扱い
- ・生命の尊重、思いやりの心の育成

特別活動

- * 望ましい集団活動を通して、よりよい生活や人間関係を築こうとする児童を育成する
- ・自発的・自治的な活動の充実により、自主的、実践的な態度を育てる。特に発達段階に即した学級活動の充実
- ・4つの領域の特質をふまえて
- ・朝の会、帰りの会、係の活動等、日常活動を大切に
- ・地域の施設・人材活用
- ・各教科・道徳・総合的な学習の時間等との関連を図る。

体験を充実する

その他の教育

- ☆情報教育
 - ・電子黒板、タブレット等の活用方法研究、教師力を向上させる
 - ・情報機器を問題解決の手段として、積極的に活用する能力の育成。
- ☆特別支援教育
 - ・実態を把握し、自立に向けた適切な指導及び必要な支援に努める
 - ・校内体制を確立し、多様な学びの場の提供と適切な指導、必要な支援
 - ・保護者や関係機関との連携
- ☆「総合的な学習の時間」
 - ・特色ある全体計画、年間計画の立案と、児童の実態等に応じて、創意工夫を生かした実践を
 - ・問題解決的な学習や探求的な活動を取り入れた単元の展開を構築
- ☆外国語活動
 - ・コミュニケーション能力の素地を養う外国語活動の推進
- ☆生徒指導
 - ・自己存在感(自尊感情)や達成感を実感。「心の居場所」づくり
 - ・指導すべきことは毅然とした態度で・・・(予防指導が基本)
 - ・解決すべきことは、その日のうちに…家庭との連携を密に
- ☆人権教育
 - ・人権意識の高揚と差別の解消。公教育の立場を明確に、発達段階に即して教育活動全体を通して組織的・計画的に取り組む。
 - ・教材「新版のち」「レッツ」「明日への伝言板」等の効果的な活用
 - ・各教科等において、「人権教育の視点」を踏まえた指導計画
- ☆健康教育
 - ・生命の尊重、健康や体力の向上に関する知識と実践的能力育成
 - ・性に関する指導、薬物、シンナー乱用防止の指導
 - ・安全点検(校内外)の徹底、事故防止、安全な活力ある生活の指導
- ☆環境教育
 - ・持続可能な社会の構築に主体的に取り組む態度、能力の育成。
- ☆防災教育
 - ・自らの命を大切にし、場面に応じて主体的に行動する力を育む
- ☆学校図書館教育
 - ・図書館司書・ブックヘルパーと連携し、読書習慣の形成を目指す
 - ・「読み聞かせ」「朝の15分間読書」の継続
- ☆国際理解教育 ☆食育 ☆福祉教育 ☆キャリア教育等の取組

学びの基盤作り(生活習慣・言葉の基礎力)

- ・本校児童の実態に即し、指導内容の重点化、指導方法の工夫改善を図る
- ・「教育課程編成資料」、「教育課程編成の手引き」、「総合的な学習の時間の手引き」、「指導の重点」「北九州スタンダードカリキュラム」を参考に、教育課程の見直し、改善を行う
- ・主題研究・研修を核に校内研修の充実と校外研修への積極的な参加を
- ・地域の「ひと・もの・こと」を生かす。家庭・地域との連携(スクールヘルパー)
- ・土曜日授業の実施と、計画的、綿密な教育計画を立て授業時数を確保
- ・授業改善ハンドブック及び指導と評価ハンドブックの効果的な活用
- ・「めあて」、「まとめ」又は「振り返り」の板書と発問の工夫
- ・生活や学習の場としてふさわしい教育環境の整備
- ・4つの「心の花」と関連させ、めざす児童像、学級目標の意識化、日常化
- ・それぞれの立場から経営案の作成とその自己点検、自己評価を行う
- ・学校関係者評価委員会、学校保健安全委員会の実施

日常留意したいこと

- ① 服務について
 - ・教育公務員としての職務上、身分上の義務、時間中は職務に専念を
 - ・時間、時刻の厳守。教師、児童ともに時間を守る。
 - ・出退勤処理、諸届を事前に確実に。
 - ・PTA活動には、会員として積極的参加を
- ② 子ども・保護者への対応について
 - ・誉めて、認めて、励まして心の栄養を醸成する
 - ・体罰・暴言・不適切な言動の禁止
 - ・早退は必ず家庭と連絡を取ってから
 - ・気になることは家庭訪問を原則(対面で・報連相)
- ③ 施設・設備について
 - ・安全点検の確実な実施。危険、営繕箇所は速やかに教頭まで連絡。
 - ・節電、節水、ごみの減量化。戸締り、施錠は確実に職員の手で行う。
 - ・外部への依頼・交渉・借用は、事前に管理職に相談
- ④ 文書、書類、諸帳簿等の管理について
 - ・提出物は、提出期限を守る。(組織人の基礎・基本)
 - ・個人情報に関する書類等の管理には、細心の注意を
 - ・児童の手を通して配布する文書は、事前に教頭(校長)へ提出(訂正1部)
- ⑤ 不慮の事故、問題行動発生時の対応について
 - ・組織的に迅速な報告、連絡、処置を。関係機関への連絡。誠意ある対応を

※ 綱紀粛正の徹底「様々なハラスメント・個人情報の管理・金銭の出納管理(校納金会計システム)・飲酒運転(交通事故)・体罰等」問題の発生予防に努める。